



## 第 3 6 号

発行 放送大学神奈川同窓会  
 総務委員会  
 責任者 笠井政記  
 発行日 平成20年10月1日  
 会員数 839名(平成20年10月1日)

### ご挨拶

会長 笠井 政記

一昨年から神奈川同窓会の会長を仰せつかっております、笠井政記です。早いもので2年間の任期を終え、引き続き会長を務めさせていただくことになりました。会員や関係者の皆様方には、今後も同窓会活動に変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。総会にて、「入会金の減額」が決議されました。同窓会の問題は色々とありますが、その一つに、これは全国の同窓会に共通しておりますが、会員(数)の伸び悩みです。現在839名の会員がおりますが毎年大きな変動はありません。毎年神奈川学習センターでは、300名以上の方が卒業しておりますが、同窓会に入会していただいた方は、40名弱です。ネックは、入会金です。そこで、会員増のために入会金を下げることを提案し、課決させていただきました。勿論、入会金の値下げだけでは会員は増えません。会報誌「波濤」の内容の検討から全ての行事の見直しを行い、充実したもの、魅力ありものしていかなければならないと思います。

#### 全国同窓会連合会について

昨年、神奈川同窓会は、連合会の副会長として昨年11月に開催されました全国同窓会連合会情報交歓会にまた、今年3月16日には、NHKホールで举行されました「学位授与式」に招待を受け出席しました。引続いて式後にホテルニューオータニにて開催されました同窓会連合会主催による卒業祝賀・謝恩パーティの業務に携りました。今年は、5月の連合会総会にて会長に推挙されましたので、来年3月28日(土)にNHKホール行われます学位授与式と式後の謝恩会の業務に会長として携わります。謝恩会には、大勢の人の支援が必要とされます。我が神奈川同窓会は、連合会長担当同窓会です。皆様方の多数のご協力をお願いいたします。

### 第19回通常総会報告

平成20年6月7日(土)午後1時より「第19回放送大学神奈川同窓会通常総会」が、神奈川学習センター第1講義室において開催されました。吉原理事の司会

により、議長及び書記の選出の後、次の議案が提出され審議されました。

#### 審議事項

- 第1号議案 平成19年度活動報告
  - 第2号議案 平成19年度収支決算報告及び監査報告
  - 第3号議案 平成19年度フォスター・プラン活動報告
  - 第4号議案 平成19年度フォスター・プラン収支決算報告及び監査報告
  - 第5号議案 平成20年度活動計画案  
(社会貢献活動計画案)
  - 第6号議案 平成20年度収支予算案  
(社会貢献収支予算計画案)
  - 第7号議案 会則一部改定案
  - 第8号議案 平成20年度役員選任案
- 以上8件の議案は賛成多数で原案通り可決されました。

#### 総会成立の確認

会員数 847名 平成20年6月7日現在  
 総会出席者数 46名  
 委任状提出者数 295名  
 合計 341名



笠井会長の挨拶

第20年度活動計画

会則の一部変更

行事予定

- 2008/8/24 フェスタ・ヨコハマの共催
- 2008/10/5 卒業祝賀会と新規会員募集
- 2008/10/25 秋の親睦旅行
- 2008/12 忘年会
- 2009/2/28 映画の鑑賞と映画講演会
- 2009/3/28 卒業祝賀会は神奈川同窓会担当

役員会開催 年8ないし9回

会報紙波濤の発行(36号と37号)

同窓会ホームページのコンテンツの充実

同窓会連合会への参加

フォスター・チャイルド5人への資金援助と、  
文通などによる交流及び広報活動の具体計画  
案

講師を招いての講演

1. 変更の理由

- ①: 通常「会則」等には目次を用いないため  
現行の目次を削除するものです。
- ②: フォスター・プラン活動以外にも社会貢  
献活動が可能とするため第5条の六を改  
定するものです。
- ③: 会長の互選を明確にするため第17条を  
変更するものです。
- ④: 会員の増員を図るため第22条の入会金  
を改定するものです。
- ⑤: 10月1日から放送大学2学期学位記  
授与式の前日までに入会した者は、その  
年の入会期間が半年間以下となるため第  
23条ただし書きで初年度のみ会費を半  
額とするものです。
- ⑥: 改定する入会金と年度会費は、平成21  
年度から有効とするため付則にて明確と  
するものです。

2. 変更)の内容

変更の内容は次の通りです(下線は変更  
部分を示す)。

条文等	現行規定	規定変更
目次	目次が記載されている	全文削除
第5条 六	フォスター・プラン活動	社会貢献活動 ①フォスター・プラン活動 ②その他
役員等の選任) 第17 条	役員は総会において選任する。	役員は総会において選任する。なお、会長は 役員会において互選する。
(会費) 第22条	本会の入会金は5,000円とする。	本会の入会金は2,000円とする。
(年度会費) 第23条	本会の年度会費は1,000円とす る。	本会の年度会費は1,000円とする。ただし、 10月1日から放送大学2学期学位記授与式の 前日までに入会した者は初年度のみ500円と する。
付 則	制定 平成10年5月24日 改定 平成14年5月12日 改定 平成15年5月16日 改定 平成19年6月 3日	1.経過処置 第8章会費の規定(第22条と第23条)は平成2 1年4月1日より有効とする。それまでは平成1 9年6月3日改定会則を有効とする。 2.制改定来歴 制定 平成10年5月24日 改定 平成14年5月12日 改定 平成15年5月16日 改定 平成19年6月 3日 改定 平成20年6月 7日

会 計 報 告 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

平成19年度収支決算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

科 目	予算額	決算額	差異
(1) 前年度繰越金	3,826,268	3,826,268	0
(2) 本年度収入	992,000	601,227	△ 390,773
①入会金	150,000	165,000	15,000
②年会費	836,000	431,000	△ 405,000
③寄付金	5,000	0	△ 5,000
④利子	1,000	4,879	3,879
⑤雑収入	0	348	348
合計(1)+(2)	4,818,268	4,427,495	△ 390,773

2 支出の部

科 目	予算額	決算額	差異
(1) 本年度経費支出	1,133,600	840,001	293,599
A 活動費	360,000	288,293	71,707
①会報費	200,000	195,250	4,750
②活動運営費	130,000	66,450	63,550
③卒業祝賀運営費	30,000	26,593	3,407
B 事務運営費	773,600	551,708	221,892
①会議費	30,000	12,744	17,256
②交通費	120,000	128,840	△8,840
③通信費	200,000	180,510	19,490
④振替手数料費	83,600	39,920	43,680
⑤消耗品費	40,000	18,418	21,582
⑥交際費	20,000	2,250	17,750
⑦雑費	30,000	8,686	21,314
⑧HP準備金	150,000	0	150,000
⑨予備費	100,000	160,340	△ 60,340
小 計	1,133,600	840,001	293,599
(2) 次年度繰越金	3,684,668	3,587,494	97,174
合計(1)+(2)	4,818,268	4,427,495	390,773

平成20年度収支予算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

科 目	予算額	摘 要
(1) 前年度繰越金	3,587,494	記念誌(20年)発行引当金50万円を含む
(2) 本年度収入	1,015,000	
①入会金	150,000	
②年会費	856,000	会員 856名
③寄付金	5,000	
④利子	4,000	
合計(1)+(2)	4,602,494	

2 支出の部

科 目	予算額	摘 要
(1) 本年度経費支出	1,014,020	
A 活動費	480,000	
①会報費	350,000	会報「波濤」発行(第35号、第36号)
②活動運営費	100,000	講演会、活動企画、フオスター・プラン、総会資料など
③卒業祝賀運営費	30,000	9月卒業祝賀会補助
B 事務運営費	534,020	
①連合会活動費	50,000	20年度卒業祝賀・謝恩ハレ・ティ担当幹事交通費など
②会議費	30,000	役員会資料代など
③交通費	120,000	役員会交通費など
④通信費	50,000	入会案内書発送費など
⑤振替手数料費	102,720	会費振替手数料 120円×856人
⑥消耗品費	30,000	事務用品など
⑦交際費	20,000	対外交際費(他同窓会との交流など)
⑧HP維持・管理費	6,300	525円×12ヶ月
⑨雑費	25,000	備品代
⑩予備費	100,000	
(2) 次年度繰越金	3,588,474	記念誌(20年)発行引当金50万円を含む
合計(1)+(2)	4,602,494	

平成19年度フオスター・プラン収支決算報告

平成19年4月1日～平成20年3月31日

科 目	予算額	決算額	差異
(1) 前年度繰越金	989,276	989,276	
(2) 本年度収入	340,300	339,991	
①寄付	330,000	329,142	△858
②同窓会より助成金	10,000	10,000	
③貯金利子	300	849	
合計(1)+(2)	1,329,576	1,329,267	

2 支出の部

科 目	予算額	決算額	差異
(1) 本年度支出計	340,000	343,805	
①援助金	300,000	300,000	
②活動費	10,000	10,000	
③事務費	20,000	21,905	△1,905
④通信費	10,000	11,900	△1,900
(2) 次年度へ繰越	989,576	985,462	
合計(1)+(2)	1,329,576	1,329,267	

平成20年度フオスター・プラン予算書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

科 目	予算額	摘 要
(1) 前年度より繰越	985,462	援助金基金 30万円を含む
(2) 本年度収入	340,800	
①寄付	330,000	前年度決算額参考
②同窓会より助成金	10,000	
③貯金利子	800	
合計(1)+(2)	1,326,262	

2 支出の部

科 目	予算額	摘 要
(1) 本年度支出	345,000	
①援助金	300,000	チャイルド5人分
②活動費	10,000	
③事務費	23,000	郵便振込手数料UP(100円 → 120円)
④通信費	12,000	はがき代(160枚8000円)他
(2) 次年度へ繰越	981,262	援助金基金30万円含む
合計(1)+(2)	1,326,262	

企画たよりⅠ 浅草で落語を楽しむ

今回の企画は、昨年からTVドラマ、映画でブームとなった『落語』を寄席に足を運んで雰囲気を楽しんでみたいと思います。選んだ寄席は浅草演芸ホール、渥美清、ビートたけしなどあまたの芸人がここから育ちました。浅草寺のお参り、仲見世も楽しみましょう。江戸東京博物館の浮世絵の特別展示も組み入れております。

日時 平成20年10月25日(土)  
 集合 JR横浜駅横須賀線ホーム 9時半  
 日程 下記の表をご覧ください。  
 費用 特別展(1300円)、  
 演芸ホール入場料(2500円)、  
 昼食代(800円~1000円)

特別展は学割とシニア割引、演芸ホールは学割がありますので、証明書をご持参ください。

申込方法

e-mail nsjxw765@ybb.ne.jp  
 Fax 0463-92-8037  
 はがき 〒259-1132  
 伊勢原市桜台4-7-53 高橋 照夫  
 締め切り 10月18日(土)

企画たよりⅡ 講演会と映画鑑賞会

神奈川同窓会恒例の映画鑑賞会・講演会を今年度も実施いたします。多数のご参加をお待ちいたします

日時 平成21年2月28日(土)

第1部  
 講演  
 演題

13:00~14:00  
 仮題「プラン活動について～子どもとともに進める地域開発～」

講師

大橋三小峰氏  
 財団法人日本フォスター・プラン協会  
 (プラン・ジャパン)  
 プログラム部プラン特別プロジェクト担当

第2部

映画鑑賞 14:10~16:40

演題 「映画の中にみるヨーロッパの芸術」

講師 西浦久晏氏 横浜映画研究会会員  
 放送大学第2期生

上映作品 「真珠の耳飾りの少女」

オランダの天才画家フェルメールの一枚の名画に秘められた至高の愛の物語。2003年作品  
 イギリス映画、監督ピーター・ウェーバー。

日時:平成20年10月25日(土) JR横浜駅横須賀線 集合		
9:30	JR横浜駅	横須賀線上りホーム東京寄り 時間厳守
10:30	JR両国着	江戸東京博物館 特別展 ポストン美術館浮世絵名品展
12:00	浅草着	仲見世散策、浅草寺参詣
13:00	浅草	浅草演芸ホール 昼の部 (昼食は演芸を楽しみながら) 終了後解散
16:30		有志による懇親会 『香港亭』(中華レストラン) 希望される方があればそのあと『神谷バー』へ

真珠の耳飾りの少女(青いターバンの娘)

(Meisje met parel) 1665-66年頃

46.5×40cm | 油彩・画布

|マウリッツハイス美術館(ハーグ)

ヨハネス・フェルメール(Johannes Vermeer, 1632年10月31日-1675年12月15日) 17世紀にオランダで活躍した画家。レンブラントと並び17世紀のオランダ美術を代表する画家とされる。



## 坂井素思先生の講演

「日本人はいかに情報を受け入れてきたか」  
兼子 弘司

坂井先生の講義は横浜開港150年にちなんで、ペリーによって初めて横浜にもたらされた電信機の話から始めて、電話産業を媒介として「日本人が情報をいかに受容したか」について話された。「情報」とは、メディア（媒体）を利用し意味ある内容を伝達すること、有形の実体ではなく無形的な抽象物であると定義して、その情報が発達するには、まず機械（科学）技術の拡大（外破）が先行し、続いて意識の拡張（内破）が地球規模で発達し、やがてこれらが相互に作用してネットワークが累積的に発展する。すなわちベル型情報産業の発展（段階論的発展・機械論的進化）からマクルーハン型発展（重層的発展）へと移行する。ネットワーク効果は

(1) 参加者が多くなれば一人当たりの費用が低下し、供給する側も限界費用が小さくなるといった経済的効果

(2) 大きな集団内で開放的なネットワークが成立すると、情報量は加速度的に増加し、相乗的な効果が現れ累積的な需要が形成されること

(3) 情報消費が累積的に増大すると、そこに標準化されたネットワークが観察され信頼性が高まってくることなどが、説明される。

講義は、電話への需要が大変強く、ネットワーク効果が累積的に起こる性質があり、電話産業が情報産業の典型的な事例であって、経済との相互作用的発展のモデルとなりうるとまとめられている。

沢山のデータを使ってわが国における電話の発展の様子が示されているが、普及状況のデータは戦前のものであり、情報産業の市場に関する平成のデータとの間を埋めるものがない。そのため最近時、飛躍的に発展を遂げた情報媒体、とりわけ電話産業における携帯電話による量的、質的変容が十分に解明されていないように感じる。いまや携帯端末は、単に通話手段であることをはるかに越えて、情報の世界を拡張し続けているといえるのではなかろうか。



坂井先生の講演



総会後の懇親会



議論百出の総会風景

## 鎌倉歴史散策に参加して

小田 博

今回、日蓮ゆかりのお寺を訪ねて見ましょうということで初めて参加いたしました。私はいかつ者で参加申し込みをせずに集合場所に行きましたら、参加者全員が集まったので時間より少し早めに本日の予定を話しておりました。その後自己紹介を行いました。年齢的には近寄っていたので安心しました。鎌倉には日蓮宗のお寺も多く、いろいろな歴史があったことが理解でき勉強になりました。歴史について無知な私は常栄寺の「牡丹餅寺」の云われのことや安国論寺について初めて知りました。また、上行寺はあまりにも小さいので普通の家のようにも思えるお寺でありましたが、かの有名な左甚五郎作の龍の彫り物があるのに一般的に知られていないと感じました。

次のページに続く

前のページより続く 鎌倉歴史散策

平成二十年六月二十八日(土曜)	10:00	11:00	12:00
	鎌倉駅西口集合 本覚寺 妙本寺	常永寺 上行寺	安国論寺 八雲神社
	13:00	14:00	15:00
	祇園山ハイキング 見晴らし台で昼食	旗きりやぐら 宝戒寺	鎌倉八幡宮 鎌倉駅解散

八雲神社からハイキングコースに入り見晴台で昼食を取りましたが蕨蚊にまとわりつかれ、追い払うのに大変でした。食事を早めにきりあげ歩きははじめました。結構起伏があり木の根に掴まり登り、下りでは滑って転んだり大変なところもありましたが、中には草笛を吹いたり、木の葉で音をたてたりして気をまぎらわしてくれ楽しく歩くことができました。皆さんが健脚のせいで早く帰ることができ宝戒寺や鎌倉国宝館で時間調整しながら「和民」で懇親を図り大変有意義な一日でした。今後も機会があれば参加したいと思っております。幹事さんにはお世話になりました。本当にご苦労様でした。

鎌倉歴史散策  
牡丹餅寺から安国論寺へ  
岡本 興和

ぼんぼりに大きく牡丹餅寺と書いてある常栄寺境内は深い新緑に覆われ、何故かお稲荷さんがあった。このお寺は本名より牡丹餅が似合っています。近くに癌封じの薬師堂がある上行寺も忘れがたいお寺です。安国論寺の階段を上ると趣のある参道が本堂まで続いている。土光敏夫さんのお墓もあり富士見台登口から急勾配をあえぎながら登ると眼下に材木座が見えた。この富士見台で日蓮上人は毎日欠かさずに法華経を唱えていたそうです。門前に立正安国論の一説が印象的であった。汝、早く信仰の寸志を改めて速やかに實乗の一善に帰せよ。

海部宣男教授講演会  
「宇宙と生命」  
菅崎 博之

放送大学神奈川同窓会が参加しているフェスタ・ヨコハマ実行委員会主催の公開講演会「宇宙と生命」(講師:海部宣男放送大学教授・前国立天文台長)が、2月24日(日)澄み渡った早春の空の下、神奈川学習センターにて開催され

ました。初春講演会とも言われていたこの講演会、フェスタ・ヨコハマ実行委員会が主催になる前、2001年の神奈川学習センター所長の神代教授の講演「年金改革の課題と展望」から神奈川同窓会ほかの共同開催として行われてきました。2005年の原田助教授の講演「イギリス留学事情」から、実行委員会方式の共同開催となりました。スタート時から同窓会、学生団体、学習センターのよい協力関係がつづいている特徴ある行事になっています。

今回は、世界の天文学をリードして、ミリ波天文学という新しい学問領域を開拓した。海部先生の講演と言うこともあり、神奈川学習センターの学生をはじめ、神奈川学習センター外からも多くの参加者があり大盛況の催しになりました。海部先生の業績である宇宙空間に多くの有機物が存在することの発見から生命へと結びつける、大学での講演らしい科学的で緻密、そして分かり易いお話は、専門的な学習をされている方も、そうでない方にも、興味深かったと思います。質疑応答になると、先生のユーモアのセンスも発揮され楽しい雰囲気、会を終えることが出来ました。行事を通して、在学・卒業生に対する支援を通して、益々同窓会への期待は高くなっています。これからも魅力的な行事が開催を願っています。



牡丹餅寺の常永寺



妙本寺の本堂前

## 私が考える少子化対策

皆川昭三

新聞記事を引用させて載くと”38才まで独身だった作家田辺さん曰く「30年前の日本は、現代のように未婚者に寛容でなく・・・独身老嬢というだけで社会下司な好奇心に曝される」と腹立たしくなったが、確かに日本は大人になったら結婚するのが当たり前の社会だった”と述べられている。

もう七年前位の記事ですが今はどうでしょうか。地域の中にも30代40代の独身者が実に多い。未婚者は年々増加して少子化の将来に一層拍車がかかるでしょう。親と別居しながら面倒をみているようで共に生計を立てている。結婚の意志もない。現代世相の暗い一面である。詳しいことは差し控えるが、放漫政策の嚆となつていのである。私が十数年前放送大学在籍の授業の中でこの少子化にも触れられ、近い将来にも憂うべき事態になっていることが充分察知できた。それが今日の事態となり高齢化社会と少子化問題として世間を騒がせているのである。ところが一向に対策らしいものが表れず、依然として燻るままになっている。早く少子化対策が望まれているのだが、施策も考え方もピント外れに思う。

少子化対策とは子供を増やすことであり、子育ての対策ではない。小さい子供を持つ家庭への支援ではない。根本的対策は、夫婦のカップルを増やさないといけないのである。この肝心なことが放置されて新生児を望んでも生まれてくる筈がありません。冒頭に述べた作家の田辺さんが指摘される未婚の現状は次の統計数値からもご理解できるでしょう。

生涯未婚率という言葉があります。これは50才まで一度も結婚したことの無い人の割合を指しますが、国税調査によると、大正末期から1960年までの該当者は、男女ともにずっと1%台だったのが80年には、女性4.45%で男性が2.60%になった。50才に近づく程適任者は少なくなり縁遠くなるが、80年代半ばから未婚率は更に上昇し、95年には女性が5.08%男性8.92%になった。現代の20代30代は、とてもこの比ではないと思うが、いずれ機会をみて資料を求めたい。独身世界が広がってゆく事に淋しさを覚えるものである。ましてやフリーターと称して定職にもつげず家庭経済を脅かしている今の社会情勢、悪の誘いに

嵌りこむ犯罪のるつぽに至っては、日本の治安にも疑念を抱かざるを得ない。

そこで、具体的に私の提言を述べることにします。

実は05年3月27日、おりしも波の乗ってきた政府のタウンミーティングが「パシフィコ横浜会議センター」で開催された。内閣府特命担当の南野大臣、厚生労働省尾辻大臣、そして文部科学省の塩谷副大臣、この3名が正面雑壇に並び、我々市民から選ばれた数百名（この中に私を含む）が相対峙して席をとりマイクを握りました。私の発言は最初になり、この誌面で述べている主旨、要点に制約して僅か一分という時間で発表したのですが、つまり全国のシルバークラブ（うち横浜港南区は百一クラブ）に結婚の仲介役を依頼して、夫婦のカップルを誕生させるべく日常の会話や集会のとき未婚者の紹介や存在を話し合い、その活動展開を老人活動の一環として奨励し行政及び政府の音頭で発展できたら、各地域の連合クラブを一単位とし年一組のカップル育成を目標に動けば、全国では相当の成果が期待できる。子供を増やす第一歩が築けるだろうと力説したところである。行政による掛け声なら、今の少子化を嘆く声より遙かに効果は上がる筈である。昔は、年寄り達が家庭を訪れたり、こっそり道端で誘いをかけたり、職場や祭りでも話が出たものである。今や年配者も積極性に乏しく、見合い結婚も少ない現状である。だから、若年層は色気半分で遊びこけ、昔の恋愛と異なる情熱で遊戯の延長となっている。交際の道具である。その窮極が赤ん坊を捨てたり殺したり、離婚や相手殺しとなり、誠に悲惨極まりない。

このような実態を知りながら少子化対策ができれば。子育てが大変だとか、働かないと生計がなり立たないとか、育児支援の場所だとか、昔の生活と較べると雲泥の差であるのに金、金、金だ。火の車でやり繰った昔の家庭はガマンガマンの鍋一つで生きてきた夫と妻だった。

おわり

## 前の頁より 私の農業体験記

手伝ってくれる人がいれば、そのまま続けたいという農家が増えてきました。現在会員は二百名を超えています。仕事は、育成管理、収穫、出荷調整、販売、畑やハウスの片づけ、草取り、水やり、施肥などです。ボランティア活動として里山公園の下草刈りや落葉かき、小学生のイモ掘り体験のためのサツマイモづくりなどもします。「はま農楽通信」を通して情報を公開し、素早く農家の要請に応えるようにしています。私は近くのトマト農家の要請を知り、駆け付け「はま農楽通信」を見て来たことを告げると、即座に来週から来て欲しいということになりました。温室内での水耕栽培によるトマト工場です。ポイラーで暖をとり、二台のポンプで水と肥料を循環させ、マルハナバチを飛ばして受粉させます。茎に付いているトマトの下葉を六枚とか八枚とか指定された枚数切り取っていく作業をします。片膝をつき葉を掻き分けながら、いざり歩きで作業を進めていきます。全身汗でずぶ濡れになり結構大変な仕事です。午前三時間だけの作業で、五百ミリリットルのペットボトル二本が空になります。

去年は、観葉植物の生産農家で働きました。これが大変な仕事でした。高さ三mぐらいの植物が植わっている鉢の場合、土は水分を含み優に十キロを超す重さになります。畑で成長させたこの植物九個を二輪車に乗せて、でこぼこの畑の中を引っ張って行き積み込み、冬に備えて温室に入れ指定された位置に並べます。この仕事は私の体力の限界を超えていたので、一年で辞めました。一昨年農政事務所の指導と資金援助を得て、五百坪ほどのササやぶを開墾することになりました。近くに住む修了生十人で開拓団？を結成し、共同して野菜作りを始めましたが、スコップと鍬での開墾は遅々として進みません。いずれ地域に開放して、農体験の場として活用してもらおうことになっています。私自身はあまり沢山の農体験をしているわけではありませんが、どんな農作業も楽ではありません。でも私は定年後、農業を選んで本当によかったと思っています。



葡萄園と梨園

## 神奈川同窓会ホームページの話

寺村紀美夫

神奈川同窓会ホームページ(以下「HP」)は、本年1月1日より本番開設しました(「波濤 第35号」にて既報告)。今回はその後の状況(苦心談等)と現在の掲載内容等についてご報告致します。

### 1. 開設以降の情況

#### 1. 四季による背景の変更

HP管理者は、観ていただく読者に対しマンネリにならぬように気を配らねばなりません。しかし、素人の管理者ではそんな高度な技術はないためマンネリ化防止の一つとして、季節毎に背景を変更することにしています。今までの冬季は「雪ダルマ」、春季は「桜吹雪」、梅雨季(6月7月は雨だれ)、夏季は「夏空」としています。しかし、この背景の変更は大変な作業なので、ページ毎に綿密作業となるからです。最近ページ数が増加しているため数日間の作業となってしまいます。

#### 2. 画像(写真)掲載の情況

HPは写真等の画像が綺麗で、且つ新鮮な情報を提供することが生命と言われています。また役員会にて画像の掲載を主力にするように要求されています。そのため、管理者としてはHPへの写真掲載は神経を使っています。通常、HPへ掲載する写真画像はデジタルカメラで撮影したものを一枚一枚チェックし、少なくとも画像ソフトにて「縮小の処理」や「自動補正処理」「切り抜き処理」等を行います。そのために各行事やイベントの写真処理してHPに掲載することは大変細かく時間の掛かる作業となり、神経を使っています。また、写真を写真集として掲載するととんでもなくページ数が多くなってしまいうため、多数の写真をページ数増加の必要のないスライドショーにしています。更に現在研究中ですが、動画写真をお見せできるようにしたいと思っています。

以下に①スライドショー、②デジタルカメラ動画についての現在情況をお話しします。

#### ①スライドショーについて

HPには各イベント等のページに写真の「スライドショー」があります。この「スライドショー」はそのイベントにて撮影した写真(20枚~100枚程度)の中から良いものを選択し、更に一枚毎に各種処理(切り抜き、縮小、カラー補正、コントラスト処理等)をして見やすく綺麗に処理を行い、また一枚毎にHPに掲載するものです。その結果をHPにてご覧下さい。その結果をHPにてご覧下さい。

#### ②デジタルカメラ動画について

HPに動画を載せることを、当初より考えていました。去年のテスト期間中にビデオにて試みましたがどうしても旨く行かず失敗し、諦めていました。そのことに悶々しているうちに今年6月のNHK趣味悠々番組の「インターネット活用術入門